第2580地区　東京豊島東ロータリークラブ

Weekly Report

2014～2015 年度会長方針「伝統と変革、より良いクラブを築こう」

創　立／1986年2月19日　(会長)渡邊　裕之　(副会長)村山　圭治　(幹事)櫛田　隆治
例会場／〒171-8505　東京都豊島区西池袋1-6-1　ホテルメトロポリタン　TEL 03-3980-1111
事務所／〒171-0021　東京都豊島区西池袋2-29-14-101　TEL 03-3985-7577　FAX 03-3590-6644
HP　http://www.toshimah-rc.jp　E-mail　info@toshimah-rc.jp

第 1373 回例会　2015 年 3 月 25 日

本日のプログラム

例　会　12：30～13：30
卓　話　「笑いは百薬の長」
医療ジャーナリスト　松井　寿一氏
紹介者　浅原　英明会員

今月のソングリーダー　佐藤美枝子会員

前回の例会報告　2014 年 3 月 18 日

次回のプログラム

理 事 会　11：15～12：00
例　会　12：30～13：30
卓　話　公式地域雑誌「ロータリーの友」について
D2580「ロータリーの友」
地区代表委員　石橋　正男氏
紹介者　渡邊　裕之会長

■出席報告

会　員	出席参入会員数	出席数	欠席数	出席率	3月4日分修正出席率
31 名	28 名	21 名	7 名	75.00%	89.29%

幹　事　報　告

①青少年交換派遣学生の募集について。あなたも小さな親善大使になりませんか？（派遣期間2016年７・８月よりおよそ１年間）地区内中学・高校在籍で、海外での留学生活を通じて国際理解とロータリーの親善大使として相応しい方を募集しています。
募集期間2015年４月１日（水）～５月15日（金）志願書提出先は国際ロータリー第2580地区青少年交換委員会へ送付。募集要項他、プログラムの詳細、留学体験談等ホームページにも掲載、志願書のダウンロードも可能です。
詳細についてはクラブ青少年交換委員長または事務局へお問い合せください。

②３月～５月分のローターアクトクラブ例会予定のご案内がきております。
例会予定表をホワイトボードに掲示いたしておりますので、是非ご参加ください。
また、ローターアクトクラブ例会出席はメークアップ扱いになります。
例会出席に当たっての日程調整に参考になさって下さい。

■ビジター
東京池袋西RC　浦野　静夫様

ニコニコ BOX

佐藤会員／３月15日、社交ダンス発表会無事終了。ルンバとワルツおどりました。成功!!
安心して又ふだん生活にもどれます。

４月の例会スケジュール

4月1日[1374]
理 事 会　11：15～12：00
例　会　12：30～13：30
卓　話　公式地域雑誌「ロータリーの友」について
D2580「ロータリーの友」
地区代表委員　石橋　正男氏
紹介者　渡邊　裕之会長

4月8日　特別休会

4月15日[1375]
例　会　12：30～13：30
卓　話　「蕎麦に親しむ」
北東製粉株式会社
代表取締役　重田　耕治氏
紹介者　有我　信行会員

4月22日[1376] → 4月24日(金) 振替
台北東海ロータリークラブ創立20周年記念式典

第36回バギオ訪問

今回は、前川名誉総裁、多田宏PG、石川PGも参加されて、総勢68人でバギオへ行って参りました。豊島東からは、前川PG、月井会員と私の３人でした。

第１日目は、羽田からマニラへ、マニラからバギオへは、通常バスで向かうのですが、今回は、近くのサンフェルナンド空港まで、プロペラ機で行きました。それから、バスでバギオまで向かいました。到着後、奨学生を交えての懇親会が開催され、本年もまた、月井会員のマジックが大好評でした。

２日目は、午前中にシスター海野の墓参りと、ベンゲット道路の現場を見学。昼は、アボンにて、「北ルソン比日基金」贈呈式を行い、昼食を学生と共にとりました。

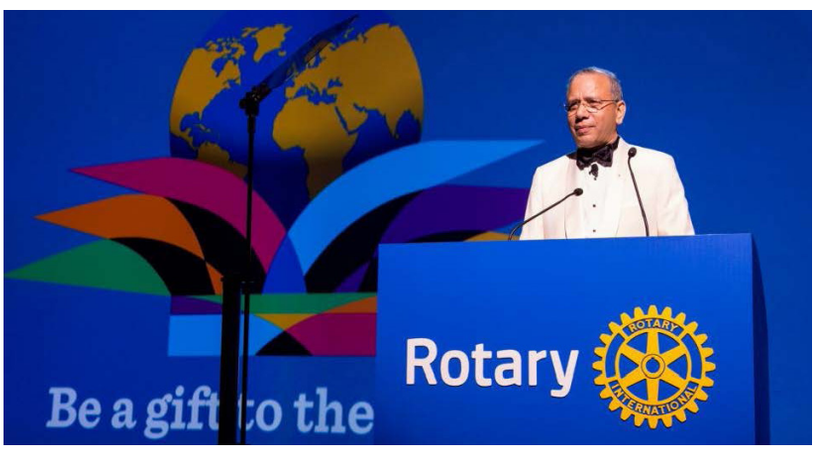
その後、分散して、奨学生の家を見学しました。私の訪問した家は、とてもきれいに住んでいました。同行者は、多田PG、月井会員、他３名の計６名でした。夜はバギオRCとの合同例会に出席しました。

３日目は早朝から、バスにてマニラに向かい、夕方到着。ひたすらバスの旅でした。

夜は在フィリッピン日本大使館の来賓やバギオから学生を招待して、懇親会が開催されました。

４日目は、マニラ市内を回りながら空港に到着。夜、羽田に全員無事到着しました。　　（佐々木通博記）

「世界へのプレゼントになろう」とラビンドラン会長エレクトが呼びかける



米国サンディエゴで開幕した国際協議会で、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表する K.R. ラビンドラン会長エレクト。
写真提供 Rotary International/Monika Lozinska

１月18日（日）、米国サンディエゴで開幕した国際協議会で、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト（スリランカ、コロンボ・ロータリークラブ会員）が、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長エレクトは、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、〝世界へのプレゼント"となることのできる１年です。（中略）このために皆さんに与えられた時間は１年です。…この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。（中略）次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」

会長エレクトはさらに、「私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束しました。（中略）私たちは闘いを続け、必ずや勝利します」と続け、ロータリーが世界にもたらすことのできる影響の良い例がポリオ撲滅であると述べました。25年前にロータリーがポリオ撲滅の目標を掲げたとき、125カ国にポリオウィルスが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオによる麻痺（まひ）障害の犠牲となっていましたが、現在残るポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの３カ国のみ。2014年に報告されたポリオの症例数はわずか333件だけでした。

続けて、ロータリーのもう一つの課題である会員増強についても触れました。「私たちの組織を形づくった基本に立ち返る方法を模索しなければなりません。それは、人生のあらゆる場面における高い倫理基準と、各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです」と述べ、「これらは、会員増強の足を引っぱる障害と見られることがあまりに多いのが現実です。しかし、これらはロータリーの成功に欠かすことができず、なおざりにすれば、自らを危険に陥れることになるでしょう」と訴えました。

ブランディングの取り組みもロータリーの発展にとって極めて重要であり、「世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がある」と主張します。さらに、ロータリー財団への寄付を推進し、新会員を迎え入れ、現会員の積極的な参加を奨励することの重要性も強調する会長エレクト。「各課題に対する簡単な答えはありません。しかし、何とかして答えを見つけなければなりません。それを見つけるのは、ほかでもない私たちです」と訴えました。

最後に会長エレクトは「今こそ真の変化を成し遂げるとき」と述べ、次のようにしめくくりました。「これからの１年は、永遠に持続する“記念碑”を築くために与えられた時間です。この記念碑は、御影石や大理石に彫られるものではなく、今後何世代にもわたって人びとの人生と心に刻まれるものです。この機会は二度と訪れるものではありません。今このときを逃さずに生かそうではありませんか」

ロータリーニュースより抜粋